

トップメッセージ



今年、積水化学グループは75周年を迎えました。これも多くの皆様からのご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

私たちは、サステナブルな社会の実現と当社グループの持続的な成長の両立を目的とし、社会課題を戦略的に捉え、イノベーションを起こし続けてその解決に積極的に取り組んでいます。製品や技術革新を通じた社会課題の解決は当社のDNAです。このDNAを表す代表的な製品として、自動車の安全性に加え軽量化やエアコン効率向上でCO₂削減にも寄与する自動車用中間膜、高い耐震性に加え創・省・蓄エネで居住におけるCO₂削減に寄与するセキスイハイム、災害激甚化の中でも生活に不可欠な水やガスを隅々まで届ける配管・インフラ材料、人々の健康・長寿命化に貢献する検査薬などが挙げられます。このように、社会課題を解決する製品やサービスの創出によって業容を拡大してきた歴史が今も続いています。このDNAをあらためて明確にすべく、当社グループは一昨年に2030年をゴールにした長期ビジョンを策定し、「“Innovation for the Earth” サステナブルな社会の実現に向けて、LIFEの基盤を支え、“未来につづく安心”を創造する」をビジョンステートメントに掲げました。グループ全体で想いをひとつにしてイノベーションを生み出し、サステナブルな社会の実現に貢献するという強い意志を込めています。

そして、この度、本レポートの名称も「CSRレポート」から「サステナビリティレポート」に改めることとしました。私たちが目指す2つのサステナビリティ、つまり社会の持続性向上とグループの利益ある成長の両立に向けた当社の戦略・考え方・現在の取組み～当社のESG経営～を、より中長期的な視点でステークホルダーの皆さまにお伝えしたいという想いが背景にあります。

昨今、安定した社会なしに、企業の存続や発展はないという歴史的常識を、多くの企業が感染症や紛争を通じて痛感させられました。今後、企業における社会的課題の位置付けはますます高まると確信しています。このような経営環境の中、サステナブルな積水化学グループを実現するには、イノベーションを生む際立つ人材、気候変動を筆頭とした社会課題を解決する技術力、デジタル変革、挑戦する風土などの「攻めのESG経営」、そして重大インシデントの抑止やサプライチェーン強靱化、BCPなど「守りのESG経営」の両輪が欠かせません。そして、この両輪を加速させるポイントは、ステークホルダーの皆さまとのパートナーシップであり、その一歩目がエンゲージメントだと考えています。このレポートを通じて、当社の考え方や取り組みにご関心やご理解を賜り、またご意見をいただければ幸いです。今後もサステナブルな社会の実現と当社グループの持続的な成長の両立に向けて、LIFEの基盤を支え、「未来につづく安心」を創造してまいります。引き続き皆様の変わらぬご支援を、よろしくごお願い申し上げます。